藝大定期第409回

藝大フィルハーモニア管弦楽団 定期演奏会

武満 徹：《弦楽のためのレクイエム》
Toru Takemitsu : Requiem for String Orchestra (1957)

武満 徹：クラリネットとオーケストラのための《ファンタズマ／カントス》
Toru Takemitsu : Fantasma/Cantos for Clarinet and Orchestra (1991)

N. リムスキー＝コルサコフ：交響組曲《シェエラザード》op.35
Nikolai Rimsky-Korsakov : “Scheherazade”, Symphonic Suite, op.35

指揮：山下 一史
Conductor : Kazufumi Yamashita

クラリネット：三界 秀実
Clarinet : Hidemi Mikai

藝大フィルハーモニア管弦楽団
The Geidai Philharmonia Orchestra, Tokyo

©ai ueda

©Studio☆Di:VA

2022年4月21日（木）東京藝術大学奏楽堂［大学構内］

19:00 開演（18:15 開場） 全席指定 4,000 円（当日券の販売はございません）

［チケットお取り扱い］3月9日（水）発売

◇ヴォートル・チケットセンター　http://ticket.votre.co.jp
TEL: 03-5355-1280 / 平日 10:00～18:00
◇チケットぴあ　https://t.pia.jp《Pコード：211-839》
◇東京文化会館チケットサービス　https://www.t-bunka.jp/tickets
TEL: 03-5685-0650 / 10:00～18:00　休館日を除く
店頭販売：10:00～19:00　休館日を除く
◇イープラス（e+）　https://eplus.jp
◇藝大アートプラザ（店頭販売のみ）　TEL: 050-5525-2102 / 11:00～18:00　月曜休、他不定休日を除く

［お問い合わせ］
◇東京藝術大学演奏藝術センター TEL：050-5525-2300
◇東京藝術大学ホームページ　https://www.geidai.ac.jp

［主催］
東京藝術大学音楽学部・東京藝術大学演奏藝術センター

※就学前のお子様の同伴・入場はできませんので、ご了承ください。
※スケジュール・曲目・出演者等は都合により変更となる場合がありますので、最新情報は東京藝術大学ホームページをご確認ください。
※客席は、前後左右を空けた席と連席（前後左右を空けない席）のブロックを設けております（＊）。＊今後の状況次第で変更する場合もございます。
※車椅子をご利用のお客様は、ヴォートル・チケットセンター TEL:03-5355-1280（平日10時~18時）までお問い合わせください。

※新型コロナウイルス感染拡大防止のため、出演者・スタッフの体調管理、入場者の制限、換気強化等の対策に取り組んでおります。ご来場のお客様にも体調管理、手指消毒、マスク着用等にご協力をお願いいたします。なお、「37.5℃以上の発熱、咳・呼吸困難、体調に不安のある方」、「マスクを着用されない方」、その他対策にご協力いただけない場合は、主催者の判断により入場をお断りいたします。最新情報は藝大ホームページでご確認ください。

藝大フィルハーモニア管弦楽団 定期演奏会

数年コロナウイルスに翻弄されて参りましたが、「音楽」が皆様の心の安らぐひとときを繋ぐ藝術であることには変わりありません。心から安心で満たされた毎日を願うばかりです。

さて、今回はプログラムの前半に日本を代表する作曲家である武満徹の作品をとりあげました。ストラヴィンスキーによって世に広められた《弦楽のためのレクイエム》、邦人によって演奏される機会が少ない《ファンタズマ／カントス》を、三界秀実本学准教授のクラリネット独奏にてお届けします。繊細で甘美な武満の世界を存分にお楽しみください。

後半のリムスキー＝コルサコフの作品は管弦楽法の大家といわれた氏のオーケストレションが聴きどころです。様々な楽器によって繰り広げられる表現描写は一体どのような「お話し」になるでしょうか！各奏者によるソロだけでなくオーケストラ全体が紡ぎ出す響きも聴きどころです。これから我々人類にはどのような未来が待っているかまだまだ不透明ですが、藝大フィルと一緒に幸運に満ち溢れた船旅にでかけませんか？

日髙 剛（藝大フィルハーモニア管弦楽団運営委員長 / 東京藝術大学音楽学部器楽科准教授）

山下 一史（指揮） Kazufumi Yamashita (Conductor)

桐朋学園大学を卒業後、ベルリン芸術大学に留学、ニコライ・マルコ国際指揮者コンクールで優勝。カラヤンが亡くなるまで彼のアシスタントを務める。NHK交響楽団を指揮してデビュー、以後主要オーケストラに定期的に出演し、オーケストラ・アンサンブル金沢プリンシパル・ゲスト・コンダクター、九州交響楽団常任指揮者、仙台フィルハーモニー管弦楽団正指揮者等を歴任。シューマン作曲歌劇「ゲノフェーファ」日本舞台初演など、オペラ、オーケストラの両面においてますます注目を浴びている。千葉交響楽団音楽監督、東京藝術大学音楽学部指揮科教授。2022年4月より愛知室内オーケストラ音楽監督、大阪交響楽団常任指揮者に就任。

三界 秀実（クラリネット） Hidemi Mikai (Clarinet)

1991年東京藝術大学大学院を修了、新日本フィルハーモニー交響楽団に入団。東京都交響楽団首席奏者を経て、現在東京藝術大学音楽学部器楽科准教授。桐朋学園大学非常勤講師を兼任。東京クライス・アンサンブルのメンバー、アール・レスピラン同人等室内楽での活動も活発に行なう。2002年より宮崎国際音楽祭に、06年より霧島国際音楽祭に参加。また日本音楽コンクールを始めとする数々のクラリネット部門のコンクール審査員も務める。13年にはCD『スパーン・ポイント』を、19年には『アーベントリート』をリリースし、共にレコード藝術誌において特選盤に選ばれる等、好評を博す。

藝大フィルハーモニア管弦楽団 The Geidai Philharmonia Orchestra, Tokyo

藝大フィルハーモニア管弦楽団（2016年秋、藝大フィルハーモニアから改称）は東京藝術大学に所属するプロフェッショナル・オーケストラで、年２回の「定期演奏会」、声楽科との「合唱定期」、オペラ研究部との「オペラ定期」、「新卒業生紹介演奏会」のほか、年末恒例の「チャリティーコンサート・メサイア」（朝日新聞厚生文化事業団・朝日新聞社主催）、「台東第九公演」などを行っている。教育面では、器楽科・声楽科学生との協奏曲等の共演および作曲科学生の作品披露を行っている「モーニング・コンサート」、指揮科学生との演奏会・試験・演習など、学生の演奏経験の拡充に資している。前身である東京音楽学校管弦楽団は、我が国初の本格的なオーケストラで、ベートーヴェンの《交響曲第5番「運命」》、《交響曲第9番「合唱付き」》、チャイコフスキーの《交響曲第6番「悲愴」》などに加え、ブルックナーの《交響曲第7番》と《交響曲第9番》を本邦初演し、日本の音楽界の礎石としての活動を果たしてきた。2017年6月には「日本・チリ修好120周年」を記念して、南米チリ公演（4公演）を行い、聴衆を魅了した。（公社）日本オーケストラ連盟準会員。

東京藝術大学 奏楽堂 ［大学構内］

〒110-8714 東京都台東区上野公園12-8

交通のご案内

■JR上野駅(公園口)・鶯谷駅(南口)、東京メトロ千代田線根津駅より徒歩10分
■京成線京成上野駅、東京メトロ日比谷線・銀座線上野駅より徒歩15分
※駐車場はございませんので、お車でのご来場はご遠慮ください。

デザイン：田上 碧（演奏藝術センター教育研究助手）